

第3次東峰村総合計画及び東峰村人口ビジョン

第3期東峰村まち・ひと・しごと創生総合戦略

～東峰村の10年物語～

The 10-year story of Toho Village



2025
Mitsuba

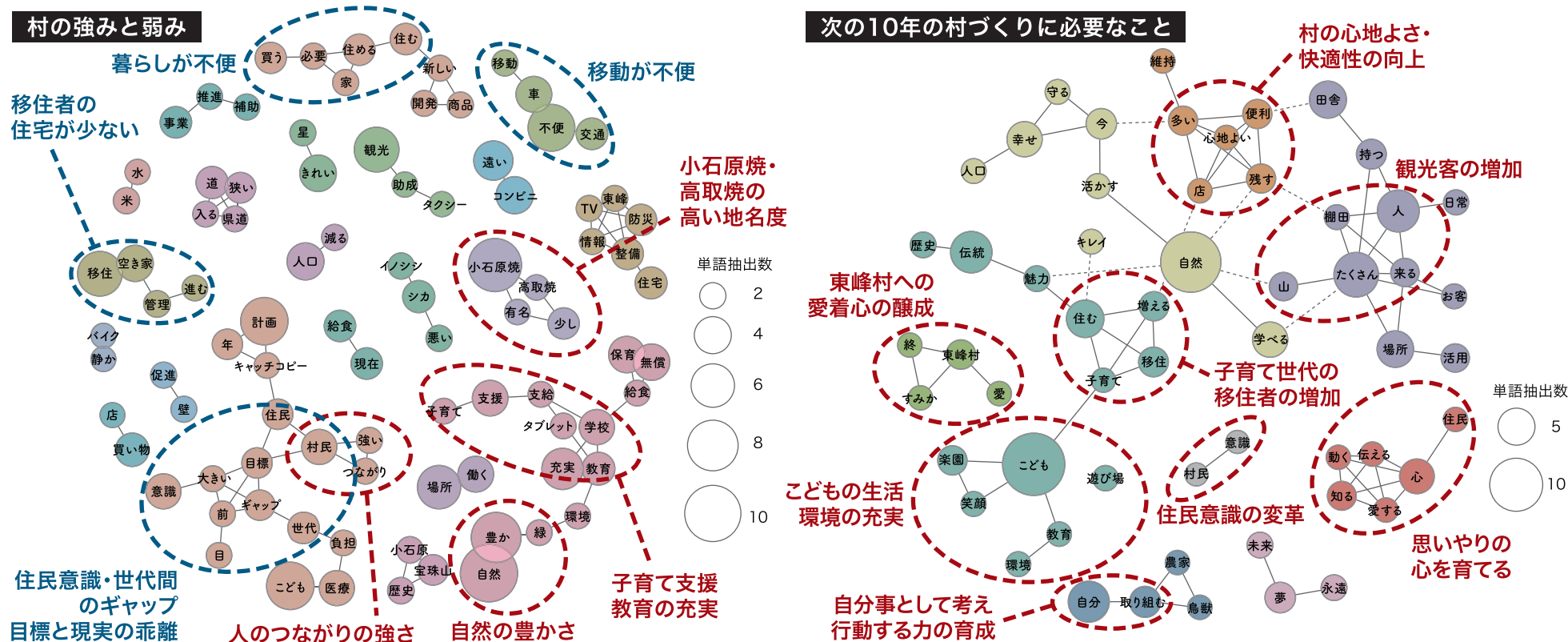
令和7年6月 東峰村

～こどもの笑顔があふれ、老若男女問わずみんなが輝く村を目指して～

「第3次東峰村総合計画～東峰村の10年物語～」は、村が持続可能な強い村として存続していくための、令和7年度から10年間を期間とする村の最も重要な計画です。

今回、新たに計画を策定するにあたって、これからの東峰村を背負う村民の方々にも、村の方向性を自ら考え、計画策定に参画いただきたいという観点から、20～40歳代の若い世代の村民などが参画する「東峰村総合計画等ワーキング会議」を設置し、上の図に示している「村の強みと弱み」や「次の10年の村づくりに必要なこと」などを話し合っ、村の将来像、ワーキング会議からの提言を取りまとめていただきました。

この計画は、そうした若い世代の方々や、アンケート、ヒアリングを通じて聞かせていただいた様々な世代、立場の方々の想いを踏まえて策定したものです。



参考:ワーキング会議での話し合いの経過

第2回 ワーキング会議～総合計画や総合戦略の基本目標の振り返り～ 「10年間で達成できたかなと実感したことは？」

- ・防災訓練（村民の5割以上の参加）
- ・学校へのタブレット支給
- ・保育料・給食費の完全無償化
- ・とほっぴペイの導入（デジタル化）
- ・観光プロモーション助成
- ・サテライトオフィス整備
- ・AIR 事業
- ・地域協働の村づくり補助
- ・森林ボランティア事業の推進
- ・都市への流通販売ルートの開拓
- ・空き家バンクの利用者が増えた？
- ・大学との交流（APU、筑女）
- ・出産・小・中・高入学支援金
- ・18歳までの医療費無償化
- ・タクシー料金助成
- ・SNSを活用した村のアピール（東峰TV）
- ・スキルアップ支援事業
- ・公営住宅の整備
- ・有害獣対策の推進
- ・6次化特産品開発
- ・合併処理浄化槽設置の促進
- ・河川保全改修

等々

アンケート調査結果(抜粋)

- くらはは、
「満足30.3%」「普通44.0%」「不満23.6%」
- 改善してほしいことは、
「交通機関や店舗37.0%」「人口減少24.6%」
- 村づくりに大切なことは、
「観光の村づくり25.5%」
「高齢者に優しい村づくり21.5%」
「災害に強い村づくり16.3%」
「子育てしやすい村づくり13.8%」

第1回 ワーキング会議～村の現状～

- 【自然】緑豊かな環境、シカ・イノシシの被害
- 【安全・安心】水害、道路環境が悪い
- 【焼き物歴史・伝統】小石原焼・高取焼
- 【子育て】保育料・医療費負担無、遊び場不足
- 【人・つながり】暖かい・優しい、つながり強い
自分事意識が低い
- 【生活の利便】交通、買い物、飲食が不便
- 【移住】限られた居住地、住居
- 【対外アピール】足りていない

第2回 ワーキング会議～次の10年の村づくり～ 「10年後の東峰村はどうなっていてほしい？どうありたい？」

- | | | | |
|--------------|---------------------------------|--------|---------------------|
| ●農林業・自然環境・防災 | ●商工業・観光 | ●地域情報化 | ●定住促進 |
| ・マイナスがプラスな村 | ・ザ観光地な村 | ・最先端な村 | ・永遠の夢の村 |
| ・のどかでくつろげる村 | ・自ら稼ぐ村 | | ・終のすみか東峰村 |
| | ・心地よく便利な村 | | ・つまり！入ったら
出られない村 |
| | ・やりたい事ができる村 | | |
| | ・非日常を求めて来る人を
WelcomeなVillage | | |

第3回 ワーキング会議～目標と現状 のギャップの背景と要因(課題)～

●計画について

- ・計画と住民の思い不一致
- ・キャッチコピーがない
- ・現状と目標(10年)が乖離している
- ・優先順位がわからない
- ・計画の進捗・管理ができていない
- ・計画の認知(周知)が不足
- ・住民の役割が不明

●住民の意識

- ・世代間の意識にギャップがある
- ・村づくりへの意識が低い
- ・失敗が許されない
- ・観光地なのに観光客に優しくない
- ・よい村のために働くのが苦手

●移住について

- ・居住地に限られる
- ・空き家はあるが使えない
(固定資産の管理が出来ていない)
- ・仕事(働く場)がない

●資源のアピール・活用が不足

- ・村のアピールが不足している
- ・資源の豊かさを悪いことと思っている
- ・焼き物以外に観光アピールできる
ものが少ない

第3回 ワーキング会議 ～大切にしたい・守りたい村への想い～

●住民意識・性格・村への想い

- ・村人のやさしさ
- ・お年寄りや住民の知恵
- ・一人ひとりが村を良くするために考えること
(村を愛する心)
- ・チャレンジを受け入れる心

●伝統・歴史

- ・小石原焼・高取焼
- ・熱い作家・語れる作家
- ・残る窯元等の維持・発展

●自然環境

- ・静かで落ち着ける雰囲気
- ・石積みの棚田(景観)
- ・自然の生き物

●子ども

- ・子どもへの手厚い教育
- ・子ども達の遊び場
- ・子どもの増加

●交通・買い物

- ・10年後も心地よく便利な村

第4回 ワーキング会議～次の10年の村づくりのキャッチフレーズ～

案:私がやる！我ら村守！

案:変わる村から化わる村へ

案:守る創る育てる 子どもの笑顔 みんなの楽園
つまり 村民の意識の壁をとりのぞこう!!

第5回 ワーキング会議 ～提言・将来像の取りまとめ～



【総合計画の策定・実現に向けた私たちからの提言】

- できない計画をたてない。
これまでの10年を振り返り、今を見ましょう
- 知らせましょう 知りましょう(総合計画を知ってもらおう)
- 決めたことは実行しましょう(否定せず、逃げずにやろう)
- いろんな活動に気軽に加わりましょう
- 色々な人の意見を聞きましょう、そして想いを伝え合おう
- 気負わず楽しみましょう
- 前向きな村づくりをしていきましょう
- 日々の行いや営みをつなげていきましょう
- みんなで力を合わせましょう
- まちの宣伝力をUPしましょう



目 次

第1章 総論

1. 総合計画の概要	7
(1) 計画策定の背景	7
(2) 計画の構成と計画期間	7
(3) 持続可能なむらづくりに向けて	8
2. 東峰村の概要	9
(1) 村の概要	9
(2) 村の現況（各種調査結果の概要）	11
(3) 計画策定上の課題	17

第2章 基本構想

1. 将来像	19
2. 人口ビジョン	20
(1) 人口の現状	20
(2) 将来の人口見通し	22
(3) 目標人口	23
3. 基本目標・施策の柱	25
4. 施策の体系	28

第3章 前期基本計画（2025－2029）

基本目標1 こどもが真ん中・誰もが生涯輝くむらづくり	31
基本目標2 美しい自然・伝統産業を活かしたむらづくり	43
基本目標3 東峰村が持続するための強いむらづくり	57

第4章 第3期東峰村まち・ひと・しごと創生総合戦略

1. 総合戦略策定の目的等	67
(1) 計画策定の背景	67
(2) ターゲット	68
2. 基本的な考え方等	69
(1) 計画策定の背景	69
(2) 施策・事業の方向性	69
(3) 成果指標	70
3. 基本目標別の施策・事業	71
4. PDCA サイクルによる検証	79

第5章 計画の推進体制等

1. 計画の推進体制	81
2. 村民等との協働	81

参考資料

1. 策定の経過	83
2. 東峰村総合計画等審議会	84
3. 東峰村総合計画等策定委員会	86
4. 東峰村総合計画等ワーキング会議	87
5. むらづくり住民アンケート集計結果	88
6. 関係団体等ヒアリング調査における意見の取りまとめ	91

おわりに

村長あいさつ	94
--------	----